

脳卒中後中等度～重度麻痺に対する 課題志向型訓練

《物理・装具・ロボット・ボツリヌス療法における療法士の役割と工夫》



講師

吉備国際大学 保健医療福祉学部
作業療法学科 准教授 医学博士 作業療法士
竹林 崇 先生

近年、脳卒中後の上肢麻痺に対する介入手段の1つとしてCI療法が注目されています。CI療法は機能的な訓練に完結せず、「麻痺手の行動を変容」することで長期的に生活の中で使える手の獲得を図る行動療法です。しかし、CI療法は随意運動が十分に出現した中等度～軽度の症例が適応となっており、より重度の麻痺を呈した対象者に提供するためには上述した様々な手法を組み合わせながら実施していく必要があります。本講義では、それぞれの手法の特徴を学び、中等度から重度の麻痺を呈した対象者の麻痺手を「生活の中で使用していくための方法」について学びます。

対象	作業療法士、理学療法士、その他
開催日時	2018年4月15日（日） 開始：9:00 終了15:00 受付：8:30 ※当日は長野マラソンによる交通規制、渋滞が予測されますので時間に余裕をもってお越し下さい。
会場	サンホールマツシロ 〒381-1231 長野市松代町松代163-9 TEL:026-278-8622
定員	100名
参加費	5000円 (※参加人数により変動する可能性があります。当日キャンセルは全額お支払頂きますのでご了承下さい)
主催	長野県北信地区身体障害領域作業療法研究会
申し込み	下記の内容を記載し、事務局にメールをお願いします ①氏名②所属③職種 事務局：takesigetakanohiroki@yahoo.co.jp (竹重病院 高野 大貴) 申し込み締め切り：2018年3月31日 ※定員に達した時点で申し込み受付終了となります



会場は**サンホールマツシロ**ですが、**駐車場は長野松代総合病院の病院駐車場**（長野 IC から 7～10 分程度）になります。

病院面会者が優先的に第 1 駐車場を利用できます様、極力乗り合わせで**第 2・第 3 駐車場**のご利用をお願いします。

同日に開催されます**「長野マラソン」**による**交通規制や渋滞が予測されます**ので、時間に余裕を持ってお越し下さい。

会場から徒歩 4～5 分にファミリーマートがございますが、講義の進行状況によって休憩時間が短縮されることもあるため、昼食は事前のご準備をおすすめします。